

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	①文化財指定等による保護				担当課		担当課評価	
					文化財保護課		B	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。 ・市内に点在する遺跡を埋蔵文化財包蔵地に指定し、包蔵地内で開発工事が行われる際は試掘調査により埋蔵文化財の有無を確認し、確認された場合には工事計画により発掘調査をして記録保存します。 							
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財数265件 ・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数:5件(前年度比125%) 試掘調査件数:92件(前年度比111%) ・その他文化財調査件数 13件(前年度比118%) 							
成果実績	項目名(単位)	H26		H27		H28		
	文化財調査件数(件)	12		11		13		
指標及び説明	【指標】 文化財数			【説明】 市・県・国指定等文化財数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)
		件	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		264	266	265				276
現状・課題	<p>重要文化財の太刀1口が売買により川越市から転出したため、達成率が下がりましたが、埋蔵文化財の発掘調査は前年比125%、試掘件数は111%に増加しました。また、その他の文化財調査件数も118%に増加しました。</p>							
改善の方策等	<p>文化財指定については、昨年度行った文化財調査をさらに継続して精査するとともに、文化財保護審議会に上がった新指定文化財候補について新たに調査を始めます。</p>							

細 施 策	②文化財保護意識の啓発				担当課		担当課評価	
					文化財保護課		B	
施策の内容	<p>国民の財産である文化財の価値を市民に知らせ理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。</p>							
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡発表会参加者数:60人(前年度比:87%) ・文化財防火訓練参加者数:115人(前年度比:100%) ・職員の講師派遣件数:16件(前年度比:400%) ・川越氷川祭の山車行事ユネスコ無形文化遺産登録記念式典(来場者:18,600人) 							
成果実績	項目名(単位)	H26		H27		H28		
	遺跡発表会参加者数(人)	52		69		60		
	職員の講師派遣件数(件)	18		4		16		
現状・課題	<p>毎年行われる遺跡発表会・文化財防火訓練などの参加者は、ほぼ横ばいで推移しています。その他、発掘調査に伴う山王塚古墳の現場説明会や川越氷川祭の山車行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことに伴う記念式典を行うなど、保護意識の啓発に努めました。</p>							
改善の方策等	<p>毎年行われる啓発行事をさらに充実させるとともに、公民館や学校教育への講師派遣に努めていきます。</p>							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成			担当課	担当課評価
				文化財保護課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。 ・後継者育成を積極的に支援します。 				
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗文化財保存修理件数:3件(前年度比50%) ・後継者養成事業実施団体数:15団体(前年度比94%) 				
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	民俗文化財保存修理件数(件)	3	6	3	
	後継者養成事業実施団体数(件)	16	16	15	
現状・課題	<p>指定文化財については、後継者育成のためや使用する道具の修理などに補助金を支出し、支援しています。現在、地域の伝統的な祭や芸能の継承は、ますます困難な状況にあるという認識です。地域の繋がりが希薄になり、伝承者の高齢化や少子化などの問題があります。</p>				
改善の方策等	<p>今後保存団体にアンケートを取るなどして現状を把握し、その後、保存団体に事情聴取し、個々の保存団体に寄り添った支援を行っていきます。</p>				

細 施 策	④有形文化財の保存と活用			担当課	担当課評価
				文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。 ・博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。 				
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財保存事業実施件数:25件(前年度比86%) ・永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者数:2,227人(前年度比130%) ・埋蔵文化財出土品貸出件数 13件(前年度比118%) 				
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	指定文化財保存事業実施件数(件)	25	29	25	
現状・課題	<p>有形文化財の所有者・管理者と協力して、文化財の適切な維持管理と文化財の価値を下げないよう保存修理事業を実施し、公開に努めています。経年劣化や台風等自然災害が原因で保存修理事業が必要になるため、課の予算額を一定にすることが難しいという課題があります。</p>				
改善の方策等	<p>永島家住宅(旧武家屋敷)については、平成29年度より毎月1回から毎週土曜日に公開日を増やします。また、市制施行100周年記念「川越市の文化財」改訂事業を始める予定です。これにより、すべての指定文化財の現況を把握するカルテを作成するため、長期的な保存修理事業を計画できます。</p>				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実							担当課	担当課評価
								都市景観課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物の保存修理など必要な事業を実施し、あわせて保存技術の継承や後継者の育成に努めます。 ・伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備を検討します。 								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保存修理事業(国庫補助対象)／一萬田家住宅主屋:屋根葺き替え、外壁張り替え等 栗生田家住宅主屋:外観復原、構造補強等 細田家住宅主屋:屋根葺き替え ・地区の啓発パンフレット作成／伝建地区の概要、伝統的建造物MAP、修理・修景等事例、創作看板 								
指標及び説明	【指標】 伝統的建造物の修理件数				【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の累計件数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	件	57	H27 61	H28 64	H29	H30	H31	H32	76
現状・課題	<p>伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。</p>								
改善の方策等	<p>保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。</p>								

細 施 策	⑥河越館跡の整備・活用				担当課	担当課評価
					文化財保護課	B
施策の内容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・河越館跡史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベントを文化財・歴史の理解を前提とした内容で企画・実施しました。(1件) ・未取得地の買収に向けて、地権者と協議しました。(6回) 					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	河越館跡地の史跡公園整備率(%)	30.4	30.4	30.4		
	河越流鏑馬見学者数(人)	3,600	1,900	4,500		
現状・課題	<p>河越流鏑馬の見学者は増加しており、河越館跡を周知するという目標は達成されています。新たな活用メニューの検討が今後の課題となります。また、未取得地の買収については、今後も地権者と協議を重ねていく必要があります。</p>					
改善の方策等	<p>河越流鏑馬を含む活用事業の見直し、用地買収に関わる地権者との協議及び整備計画の検討を行います。</p>					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	⑦山王塚古墳の整備				担当課	担当課評価
					文化財保護課	B
施策の内容	国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として、国指定史跡とすることを目指します。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 山王塚古墳の範囲確認及び横穴式石室の遺存状態確認のため、周溝及び墳丘に5本のトレンチ(発掘杭)を設定し、発掘調査を実施しました。 一辺約100mの上円下方墳であることが確認されるとともに、出土土器から7世紀後半に造られたことが判明しました。 					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	川越市山王塚古墳調査検討委員会開催数(回)	1	2	2		
	山王塚古墳現地説明会見学者数(人)	0	388	120		
現状・課題	国指定史跡を文化庁に意見具申するための前提となる発掘調査については、おおむね順調に進捗し、古墳の規模や構築年代等が明らかとなっています。今後発掘調査から山王塚古墳の価値について多面的に論じた、国に提出する総括報告書の作成が必要になります。					
改善の方策等	発掘調査の出土品、図面整理を速やかに行い、総括報告書を刊行します。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱	(1)文化財の保護				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化財指定等による保護	文化財保護課	B	B	B
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	B		
	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	C		
	④有形文化財の保存と活用	文化財保護課	B		
	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	A		
	⑥河越館跡の整備・活用	文化財保護課	B		
	⑦山王塚古墳の整備	文化財保護課	B		
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> 永島家住宅については、無料公開によりたくさんの方に見ていただけたと思うが、観光ルートの一つとして楽しめるように更に整備していただきたい。 伝統的建造物群保存地区については、川越の文化財の柱のようなものだと思うので、今後も支障の無いように保存整備事業を進めていただきたい。 				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (2)文化芸術の振興

細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	A
施策の内容	市民、市民団体、NPO法人、企業、大学等との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、相互の交流等を通じて、地域の魅力づくりとなる新たな文化芸術の創出に努めます。								
平成28年度実績	市民や市民団体等と連携・協働し、①川越市民文化祭、②川越市総合文化祭、③2音大クラシック・コンサート、④川越市美術展覧会、⑤大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、⑥小江戸川越第九の会 第九演奏会、⑦高校生小説大賞、⑧文芸川越の発行、⑨囲碁棋聖戦等の文化芸術事業を実施しました。								
指標及び説明	【指標】 協働による文化芸術事業件数				【説明】 文化芸術団体等との協働による文化芸術事業件数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	件	7	H27 8	H28 9	H29	H30	H31	H32	10
現状・課題	文化芸術団体をはじめ、高校・大学等学校や各種団体との連携・協働により、文化芸術事業を実施しています。恒例となり市内外への周知が図られてきている事業も多く、順調に進捗しています。								
改善の方策等	文化芸術団体や学校、各種団体等と連携・協働するとともに、本市の有する資源を活用した新たな文化芸術事業の創出に努めます。								

細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	高校や大学との連携事業を推進するなど、若い世代が文化芸術事業に参加・活動しやすい環境を整えます。					
平成28年度実績	①尚美学園大学、東邦音楽大学と連携して、「2音大クラシック・コンサート」を開催しました。 ②「高校生小説大賞」を実施しました(平成27年度から当課で実施)。 ③「川越市美術展覧会」の出品手数料に学生料金を設定するとともに、学生奨励賞を設けました(平成26年度から)。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	2音大クラシック・コンサートの入場者数	445	856	1,113		
現状・課題	①2音大クラシック・コンサートは、2大学の協力とともに、低廉な入場料設定や高校生以下の招待を行うなどにより、入場者数が順調に伸長しています。 ②高校生小説大賞は、年度により応募作品数に増減がありますが、おおむね順調に進捗しています。 ③川越市美術展覧会は、学生の出品点数が増加しており、順調に進捗しています。					
改善の方策等	引き続き、若い世代が気軽に良質な文化芸術に触れる機会を提供するため、企画内容や料金設定などを通して、より参加しやすい環境づくりに努めます。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(2) 文化芸術の振興			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	A	A	A
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 学意 見 者 等	<p>・高校や大学との連携事業については、学生たちの発表の場としてとてもよい取組だと思えるので、充実を図っていただきたい。</p> <p>・若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくりについては、新しい文化を造り、継承するため、現在実施している事業だけでなく、もう少し参加しやすく興味を持ってもらいやすい事業も考えていただきたい。</p>				A

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (3)文化芸術に触れる機会づくり

細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化芸術への関心や理解を深めるため、良質な文化芸術の鑑賞機会を提供します。 市民が身近なところで、気軽に文化芸術に触れることができるよう、インターネットやSNS等を活用し、わかりやすく、魅力ある情報の提供に努めます。 					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ウェスタ川越大ホール等において、指定管理者がオーケストラ公演などの鑑賞事業や、市民参加型演奏会・講習会などの普及・参加・交流事業を、提案事業として実施しました。 市の主催事業をはじめとする文化芸術のイベント・講座情報を、「市内文化施設イベント情報」(市HP)や「文化芸術メール」(小江戸川越メール配信サービス)により発信しました。 					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	文化芸術振興施設提案事業満足度(%)	—	—	96.5		
	文化芸術メール配信数(件)	—	108	294		
現状・課題	文化芸術振興施設提案事業満足度も高く、文化芸術メール配信数も増えており、順調に進捗しています。					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズを事業の企画に反映するなど、引き続き良質な文化芸術の鑑賞機会の提供に努めます。 文化芸術メールを積極的に活用し、文化芸術のイベント・講座情報の一層の提供に努めます。 					

細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	次代を担う子どもたちが、文化芸術を鑑賞し、学ぶことのできる機会の充実を図ります。					
平成28年度実績	「子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～」として、小学校7校にアーティストを派遣し、使用楽器や演奏曲の説明を交えた演奏会を実施しました。					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	アウトリーチ実施校数(校)	—	5	7		
現状・課題	アウトリーチ実施校数は、増えており、順調に進捗しています。					
改善の方策等	アウトリーチを行う人材の発掘に努めます。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	文化芸術振興課	A	A	A
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見	子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～と人材発掘オーディションについては面白い取組なので、拡充していただきたい。				A

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進

細 施 策	①文化芸術活動への支援				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動を行う市民の発表機会の充実に図ります。 文化芸術分野で功績のある人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を支援します。 					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭や川越市総合文化祭、川越市美術展覧会等を開催するとともに、文芸川越を刊行しました。 文化スポーツ顕彰のうち、文化賞は該当者なしでした。 					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	市民文化祭の事業数(件)	26	27	27		
現状・課題	市民文化祭については、事業数は横ばいで、順調に進捗しています。一方、参加者は高齢者が多く、減少する傾向にあります。					
改善の方策等	若い世代にも興味を持ってもらうため、ホームページやメール配信サービス、ツイッター等の媒体を活用した情報の周知などに努めます。					

細 施 策	②文化芸術活動の場の整備				担当課	担当課評価		
					文化芸術振興課	B		
施策の内容	市民の芸術鑑賞や活動・発表の場である文化施設やウエスタ川越大ホール等の適切な運営管理を図ります。							
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ウエスタ川越大ホールの稼働率は、順調に伸展しています。 やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数は、施設により増・減それぞれを示しています。 							
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28				
	ウエスタ川越大ホール区分稼働率(%)	—	59.3	71.5				
指標及び説明	【指標】 文化施設の利用者数		【説明】 やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数					
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値				目標値(H32)	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	人	311,899	309,023	301,354				321,000
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の利用者は減少していますが、ウエスタ川越大ホールの区分稼働率は順調に伸びていることから、おおむね順調に推移しています。 やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールについては、老朽化への対応が必要です。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の利用者数が増加するよう、施設の利用促進に努めます。 老朽化した文化施設について、計画的な改修に努めます。 							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進

細 施 策	③文化交流の促進			担当課	担当課評価
				文化芸術振興課	A
施策の内容	文化芸術関係団体相互の交流を促進し、ネットワークの充実を図ります。				
平成28年度実績	川越市総合文化祭は平成27年度から開催していますが、平成28年度は初年度を上回る団体数の参加がありました。				
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28	
	総合文化祭参加団体数	—	37	43	
現状・課題	平成28年度は初年度を上回る団体数の参加があり、順調に進捗しています。				
改善の方策等	関係団体と連携し、多数・多様な団体の参加・交流を促し、参加者数の増加に努めます。				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	B	B	
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	B		
③文化交流の促進	文化芸術振興課	A			
学識経験者等意見	ウエスタ川越の大ホールについては、稼働率が高い状況が続くように運営していただきたい。				B

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (5)美術館の充実

細 施 策	①展覧会等の充実							担当課	担当課評価
								美術館	A
施策の内容	市民が親しみやすい展覧会の実施や体験型のイベント等を企画し、市立美術館の利用機会の向上を図ります。								
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展(常設展示室、相原求一朗記念室)については、年4回の展示替えを行いました。また、タッチアートコーナーについても、年4回開催しました。※(春)高須賀昌志展、(夏)収蔵品から、(秋)西村文男展、(冬)小日向千秋展 ・特別展については、年4回開催しました。※(春)黄金期の浮世絵 歌麿とその時代、(夏)川島清 彫刻の黙示 路傍 淵 水量、(秋)池田幹雄×滝沢具幸、(冬)招き猫亭コレクション 猫まみれ展 								
指標及び説明	【指標】 ①美術館の常設展観覧者数 ②美術館の特別展観覧者数				【説明】 ①常設展年間観覧者数 ②特別展年間観覧者数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	① 人	38,934	33,269	41,917					39,000
② 人	28,718	23,653	27,819					30,000	
現状・課題	昨年度と比べ常設展の実績値が目標値を上回り、特別展の実績値も昨年度に比べ増えており、順調に進捗しています。								
改善の方策等	引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。								

細 施 策	②創作活動・発表の場の提供				担当課	担当課評価
					美術館	B
施策の内容	創作活動や発表の場の提供を通じて、市民が芸術活動に参加する機会づくりに努めます。					
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーの年間稼働日数については、稼働日数263日／年間日数296日となっています。 ・創作室の年間稼働コマ数については、稼働コマ数272コマ／年間稼働コマ数888コマとなっています。 					
成果実績	項目名(単位)	H26	H27	H28		
	市民ギャラリーの年間稼働日数(稼働日数／年間日数)	76.43%	81.54%	88.85%		
	創作室の年間稼働コマ数(稼働コマ数／年間コマ数)	32.55%	26.85%	30.63%		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーの年間稼働日数については、おおむね順調に進捗しています。 ・創作室の年間稼働コマ数については、進捗があまり順調ではありません。特に、午後5時から午後8時30分までの時間帯の利用がありません。 					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーの利用については、さらに多くの団体が利用できるよう有効活用努めていきます。 ・創作室の利用については、新たな利用団体等を獲得すべく、川越市立美術館ホームページ等を通じて周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。 					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (5)美術館の充実

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化							担当課	担当課評価
								美術館	A
施 策 の 内 容	学校教育と連携した教育普及活動を行うとともに、子どもたちが文化芸術活動を体験できる機会の充実に努めます。								
平 成 2 8 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ○教育普及事業 72事業 延参加者数20,010人 <ul style="list-style-type: none"> ・主に子ども(中学生以下)が参加できる事業 31事業 延参加者数15,334人 ・主に大人が参加できる事業 24事業 延参加者数3,747人 ・誰でも参加できる事業 9事業 延参加者数753人 ・教員向け事業 8事業 延参加者数176人 ○上記の内主な学校教育との連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・川越市立中学校美術部の祭典 出品生徒数269人 観覧者数1,111人 ・川越市立小学校6年生バス見学 31校 延参加者数2,967人 ・川越市内児童生徒作品展 3作品展 延観覧者数7,543人 								
指 標 及 び 説 明	【指標】 川越市立中学校美術部の祭典の参加校数				【説明】 川越市立中学校美術部の祭典に参加した中学校数				
	指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値				目 標 値 (H32)	
	校	20	H27 21	H28 20	H29	H30	H31	H32	22
現 状 ・ 課 題	川越市立中学校美術部の祭典の参加校については、昨年度に比べ1校減少していますが、多くの教育普及事業が実施できたので順調に進捗しています。								
改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民に広く発表することで美術教育に対する理解と認識を深めていきます。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(5)美術館の充実				
施 策 評 価	細 施 策	担 当 課	施 策 評 価		総 合 評 価
			細 施 策	施 策 の 柱	
	① 展覧会等の充実	美術館	A	A	
	② 創作活動・発表の場の提供	美術館	B		
③ 教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	美術館	A			
学 識 経 験 者 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会については、美術館のスタッフの方たちだけで企画を構築していくことが一番良いと思うが、質の高いパッケージも活用して、楽しめる展覧会を企画していただきたい。 ・教育普及事業について、博物館と併せての実施は時間的な制約があるため、美術館の意図を子どもたちに伝えられるように、単独での受け入れについても考えていただいたほうがよいと考える。 				A